

鎌田實 × 大王製紙 × はびねす福祉会

排泄ケアが変われば、 介護の質が上がる

特別養護老人ホーム若水館と
介護アドバイザーの実践

2024年8月号で語られた、大王製紙が掲げる「介護の快護化」のステートメントに込めた思い。今回は、その思いを体現する取り組みの一つ、「アテントマイスター・プロ研修」について、研修を受講しているはびねす福祉会の長野さん、大平さん、ナタさんと介護アドバイザーの河村さんにお話を伺いました。

若水館が排泄ケアに 取り組んだわけ

鎌田 若水館はいつから排泄ケアに力を入れ始めたの？

大平 以前から排泄ケアの取り組みは行っていました。力を入れ始めたのは、2024年に私が施設長になってからです。当時びっくりしたのは、1日5〜6回、尿漏れの多い人は7回くらいおむつを換えていたことでした。排泄したらすぐに交換するのが排泄ケアなんだみたいな雰囲気さえありましたね。1日中、おむつ交換をしているんじゃないかと思えるくらい頻回だったんです。

鎌田 そんななかで、大王製紙のアテントマイスター・プロ研修を受け

ようになったのはなぜかな？

長野 前理事長である私の父の教えが大きいですね。父は、「すべての基本は接遇だ」とよく話しています。接遇と聞くと、あいさつや声かけといった言葉によるコミュニケーションを思い浮かべがちですが、言葉のない接遇もあります。排泄介助もその一つです。おむつ交換の際には声かけも行いますが、ご利用者様が心地よく過ごせるように、おむつの当て方や選び方に心を配ることも、言

葉のない接遇だと考えています。以前からアテントマイスター・プロ研修に取り組んできましたが、昨年からはさらに力を入れて、排泄ケアの質向上を目指しています。

排泄ケアの改善が 施設全体のケアの改善に

鎌田 アテントマイスター・プロ研修の特徴は何か、わかりやすく教えてくださいかな。

河村 施設に排泄ケアのアドバイザーをつくってしまうところです。排泄ケアの方法を教えて終わりではなく、定期的に現場に入り、一緒に課題を見つけ、解決していく。すると、

職員さんが課題を洗い出し、解決策を実践するというサイクルができるようになります。これにより、各施設にアドバイザーが生まれ、排泄で困っている職員さんがいとも一緒に解決できるようになります。

鎌田 なるほど。介護主任のナタさんは、研修を受けてどう感じたかな。

ナタ ご利用者様一人ひとりの状態の見方、パッドの種類や特徴、排泄の記録の書き方など、すごく勉強になります。以前は、皮膚トラブルがあるご利用者様も何名かいらっしやったのですが、河村さんからパッド変更のアドバイスをもらい、実践してみると、すぐに治りました。こうした知識がある職員が施設にいれば、ご利用者様もすごく心強いですよ。

鎌田 施設長の大平さんから見て、排泄ケアの取り組みによって、施設のケアは変わった？

大平 本当に変わりました。排泄ケアの見直しで、おむつ交換の回数もずいぶん減らすことができました。また、皮膚状態が悪く、ベッドで過ごしていた方も状態が改善されて、今ではフロアでほかのご利用者様や職員と笑顔で話されています。排泄

ケアの見直しが生活の質の向上につながっていると感じました。河村さん、ナタ主任を中心に職員みんなで改善案を考えていくうちに、チームとしての結束力やケアの質を高めようという機運も高まった気がします。

鎌田 それはすごい。おむつ交換の回数が減ったことで、職員の時間や労力も軽減されただろうね。そのぶん時間は何にあてているのかな？

大平 これまで十分にできていなかったレクリエーションやリハビリの時間にあてています。今では、毎日のようにレクやリハビリの時間をとれていて、ご利用者様だけでなく、職員にも楽しそうな雰囲気が出てい

アテントマイスター・プロ研修

病院・介護職員などに紙おむつの正しい使い方や排泄に関するアドバイス・提案・サポートについて正しい知識を習得してもらうことを目的に、大王製紙が提供する独自の研修。全5回の研修を受講し、筆記・実技試験に合格すると、「アテントマイスター・プロ」として認定される。

社会福祉法人はびねす福祉会 特別養護老人ホーム若水館

愛媛県新居浜市にある定員80名の特別養護老人ホーム。2002年開設。外国人材の受け入れに積極的で、国籍の垣根のない施設づくりを目指している。介護主任を務めるのは、インドネシア出身のナタさんで、施設長の大平さんをはじめ、職員からの信頼も厚い。





アテント 皆さまと一緒に「介護の快護化」®を目指します。

※「介護の快護化」登録商標 6600998号

アテントは、介護する人・うける人、それを支えるご家族まで、
「安心」で「快適」に「自己実現」できる排泄ケアをサポートします！



介護の快護化
KAIGOKA

アテントでは『介護の快護化』の実現を目標としています。
介護をする人、介護をうける人、そしてそれを支えるご家族まで。
それぞれの抱えるお悩みや課題に寄り添い、解決策をご提案することで

介護に携わるすべての人が、もっと安心して快適に日々を過ごせるような。
明日へと広がる新たな可能性に、自分から一步前に踏み出せるような。

そんな“快護”となるように、介護のカタチを変えていきたいという想いです。
そして、この想いを広げ、共感の輪をつないでいきたいと願っています。

安心で快適を追求した「S ケア、R ケアシリーズ」



Sケアシリーズ

スキントラブル発生リスク軽減へ
「Sケアシリーズ」は「紙おむつが影響する
スキントラブル発生リスク」軽減を目指します。

- 1 Skin care の“S”
スキンケアに注目した品質
- 2 Soft/Smooth の“S”
やわらかい、なめらかな品質
- 3 Solution/Satisfaction の“S”
利用者・介護者の抱える問題を解決し、
顧客満足度を向上させる品質



Rケアシリーズ

動きによるモレ軽減

「Rケアシリーズ」は動きによるモレを軽減する
ことで「自分らしさを実感」し、日常生活を快適に
過ごしていただくお手伝いをします。

- 1 Rehabilitation の“R”
「機能回復」「残存機能維持」を支える品質
- 2 Regain の“R”
「自分らしさ」を取り戻すことを支える品質
- 3 Respect の“R”
「自分らしさ」を尊重する品質



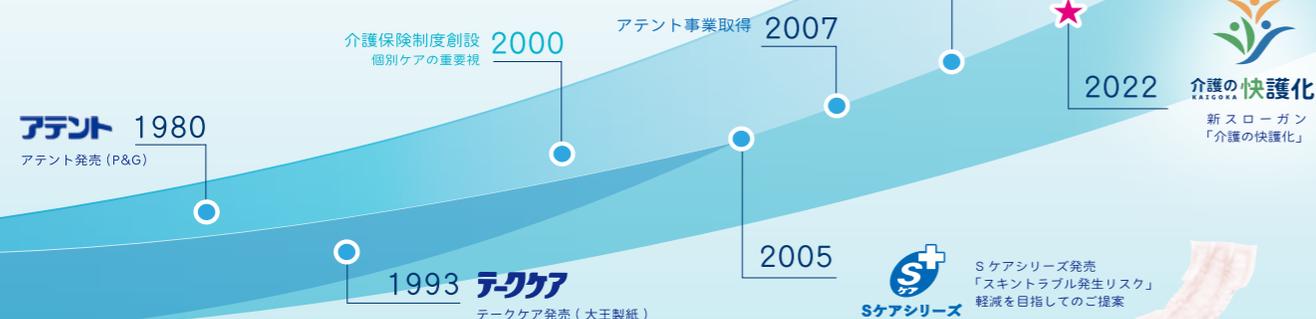
産学連携商品

大学と共同で取り組み、科学的根拠に基づいた商品を開発しています。スキントラブルや使用状況の問題点などの課題を分析し、導き出された共同研究成果を活用して、課題解決を目指しています。



Attento History

アテントはこれからも“快護”
に向けて、商品やサービスで
サポートしていきます。



岸 慶典

大王製紙株式会社 H&PC部門
グローバルマーケティング部
ヘルスケアブランドマーケティング部
ヘルスケアグループ

「介護の快護化」の今
鎌田 「介護の快護化」のステートメントを掲げて約一年が経ったけれど、現在ほどのような取り組みをしているのかな？

岸 介護のネガティブなイメージを払しょくするための中・高生向けの出張授業であったり、介護を身近に感じてもらうための市民講座を行っています。アテントマイスター・プロ研修もこうした取り組みの一つです。この研修は、2017年から開始し、今では年間約3700名が資格を取得するなど、広がりを見せています。研修をうまくご活用いただくことで、職員様の技術の向上、ひいては利用者様への快適な介護の実現のお手伝いができていると考えています。



杉山 渉

大王製紙株式会社 H&PC部門
グローバルマーケティング部
ヘルスケアブランドマーケティング部
ヘルスケアグループ 課長

杉山 介護に携わるメーカーの責務として、ただモノをつくるだけでなく、どういう思いをもってケアに取り組んでいくのか、その考え方をどのような形で提供していくのかをしっかりと考えなければいけません。

ますね。今、この職員たちとなら、ご家族にも「ここへ来てよかったな」と思ってもらえるような施設をつくるような気がしています。
はびねず福祉会の
今後の抱負
鎌田 はびねず福祉会と大王製紙の取り組みは、すごくうまくいっているね。この取り組みを続けていくそうだけど、何か今後の目標はあるかな。

大平 はびねず福祉会には、多くの外国人職員が所属しています。若水館の職員も約半数が外国人ですが、国籍に関係なく、皆フラットな関係で仕事をしています。今後、全員がこのアテントマイスター・プロ研修を受けて、日本人、外国人の垣根なく、プロとして後から入職した後輩にケアを教えられるような状態を目指したいです。また、リハビリや看護などの職員にも研修を受けてもらい、施設全体で排泄ケアを支える体制を

つくっていききたいと思っています。
ナタ もっと排泄ケアの勉強をして、ご利用者に困りごとがあるときは改善できるように頑張りたいです。また、ご利用者様からの「ありがとう」の言葉が毎日あふれていければ、職員もストレスなく仕事ができると思うので、そんな介護を実施していきたいです。
鎌田 排泄ケアの改善は、介護の質だけではなく、職員の働きやすさや意識も高めるんだね。